

ボーリング柱状図

調査名 _____

事業・工事名 _____

ボーリングNO. _____

シートNO. _____

ボーリング名	B-1	調査位置			北緯	36° 45' 40.0000"				
発注機関	栃木県矢板土木事務所 河川砂防部			調査期間	2008-09-29 ~ 2008-10-01		東経	139° 50' 22.0000"		
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者				
孔口標高	276.92 m	角度		方向		地盤勾配	鉛直 0°	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具
総掘進長	6.02 m	角度	0°	方向	鉛直 0°	水平 35.00°	使用機種	エンジン	ポンプ	

標尺	層厚	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験						原位置試験 試験名および結果	試料採取 深度 試験番号 採取方法	室内試験 掘進月日
											深度 (m)	10cmごとの打撃回数		打撃回数 / 貫入量 (cm)		深度 (m)			
											0	10	20	30					
												0	10	20	30				
1	0.85	0.85		シルト (M)	黒褐色		軟らかい	植生根・腐植物混入 含水比・粘性中位			1.15	1	1	2	4				
				ローム (Lm)	茶褐色		軟らかい	火山灰質粘性土 植生根・腐植物混入 含水比・粘性中位			1.45	15	6	9	30				
				砂 (S)	暗褐色		緩い	スコリア 粒径 1-3mm程度			2.15	1	1	1	3				
2	0.55	1.90		礫混じりローム (Lm-G)	茶褐色		軟らかい	火山灰質粘性土 含水比・粘性中位 所々に径 5-20mm程度の風化礫混入 粗砂分混入し不均質			2.49	50	2	50	2				
				風化岩 (WR)	紫茶灰-青灰			溶結凝灰岩 コアは3.00m付近まで礫状で深は柱状 クラックが発達しクラック面は茶褐色になる 5.50m付近より青灰色になり新鮮な状態 コア採取率 90-100%, RQD45-90%程度			3.10	50	2	50	2	>50			
											3.12	50	2	50	2	>50			
3	0.90	2.80									4.02	50	2	50	2	>50			
											4.04	50	2	50	2	>50			
4	0.90	3.22									5.00	50	2	50	2	>50			
											5.02	50	2	50	2	>50			
5	3.22	6.02									6.00	50	2	50	2	>50			
											6.02	50	2	50	2	>50			

09/29

09/30